



写真⑤ 福井神楽（水鬼）。毎年5月の第2日曜日に福井白山宮に奉納されます。福井神楽は、明治20年（1887）に氏子有志で始められました。その後、いったん途絶えましたが、大正14年（1925）に復活。昭和32年（1957）ごろを境に、舞い手の高齢化により衰退したものの、昭和48年（1973）には「福井神楽保存会」が結成されて復活し、今日まで続いています。「神降」から「手力王の尊」まで全24演目があります。

写真⑥ 福井神楽で使われる神楽面。新古20面が伝わっており、現在、そのうちの16面が使用されています。どれも各演目の特徴に合った面相をしています。

写真⑦ 目隠し女相撲。毎年12月8日、松末五郎稻荷神社で行われる五穀豊じょうを願うふいご大祭の奉納行事。力士は女性のみ。七福神の顔を描いた頭巾をかぶり、土俵に膝をついて手探りで相手を押し倒します。



写真① 龍国寺（波呂）の盆踊り。8月15日の夜、平重盛と側室、千姫、福姫の供養や地区の慰霊祭の後、笛と太鼓で奏でる囃子にのせて行われます。

写真② 一貴山校区の盆踊り。龍国寺の盆踊りがその原形となっています。

写真③ 深江の川祭り。毎年7月の第1日曜日に深江地区の17カ所で継承されている水神祭の1つです。もともと、子どもたちだけで行われていましたが、現在では、地域全体の取組に変わりつつあります。

写真④ 松末の百万遍。毎月17日に松末公民館で行われている仏教行事です。

